

# 「雄 志」

## 民主党千葉県第10区総支部 谷田川はじめ後援会

### 【香取事務所】

〒287-0001 千葉県香取市佐原口2164-2  
TEL 0478-54-5678 FAX 0478-52-6991

### 【国会事務所】

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1  
衆議院第1議員会館816号室  
TEL 03-3508-7123 FAX 03-3508-3423  
Mail:info@hajime-yatagawa.com  
HP:www.hajime-yatagawa.com



あの歴史的政権交代から、3年以上が経過しました。この間、選挙で皆様に約束したことを実現すべく懸命に努力してまいりましたが、十分期待に応えられないでいることを申し訳なく思っています。

マニユフェストには、何ら触られてない消費税引き上げを再来年4月から8%に、さらにその1年半後に10%にする法案を先の通常国会で成立させました。私ども民主党は、引き上げ分は、すべて社会保障にまわすことを強く主張しています。それに対して、自民党は国土強靭化と称して公共事業にまわすことを中心を主張していますが、財源は別途検討すべきです。この辺が次の選挙の争点になるよう気がします。

さて、10月18日に、民主党が次期衆議院選挙に向けたマニユフェストを作成するための一期生懇談会が開催され、私も意見を述べました。マスコミはマニユフェスト総崩れと言っていますが、決してそんなことはないと私は思っています。それについては、4ページと5ページに具体的に記述しましたので、お読み頂ければと存じます。やはり大切なことは、前回マニユフェストの検証を行い、実現できたものをしつかりアピールし、できなかつたものについては、その理由をきちんと説明することです。

自民党は、マニユフェストが実現できなかつた責任を取れと、声高に叫びますが、我々のマニユフェストの実現を一番妨害したのは、自民党であると

民主党千葉県第10区総支部長  
衆議院議員

谷田川はじめ

常在戦場の気持ちで



参議院選挙の敗北は返す返せん。参議院で与党が過半数を占めていれば、マニユフェストで掲げた政策は、大部分が実現できたに違いありません。

野田総理が「近いうちに解散する」と言つて、三ヶ月が過ぎました。昔から、衆議院は「常在戦場」と言われています。すなわち、いつ選挙があつてもおかしくないことを例えたものです。初当選した直後に、当時の幹事長であつた岡田克也氏が「私が初当選した直後、先輩議員から、一年生議員の最大の仕事は、次の選挙も勝ち上がりつてくることだと言われたが、その時はかちんときたが、今振り返つてみるとその通りだと思います」と言われたのを思い起します。

次回の選挙での再選を最大の目標と位置付け、残された期間懸命に努力して参りますので、皆様のご支援を切にお願い申し上げます。

平成二十四年十一月

谷田川はじめ

# 岡田克也副総理を迎えての 谷田川はじめ国政報告会！

去る10月25日(木)午後7時から、香取市佐原中央公民館で岡田克也副総理をお招きし、谷田川はじめ代議士の国政報告会が開催され、会場は250名を超える聴衆で溢れました。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は、当地域にも甚大な被害をもたらしました。谷田川代議士は、約20分間にわたり、当地域の復旧・復興に向けて、どのような活動をしてきたかを、パワーポイントを使いながらわかり易く説明しました。谷田川代議士が報告した内容は以下の通り。

## 震災対応に全力投球！

- ①液状化被害を受けた住宅に対して、被災者生活再建支援法（住宅を修理したり新しく建て替えた場合等、最高で300万円の支援を受けられる）の適用がなされるよう、認定基準が緩和される。これにより、香取市だけでも、新たに1000件以上が支援金を受け取れるようになった。
- ②被害を受けた農地や農業施設を査定前でも復旧工事ができる、いわゆる査定前着工をできるようにした。これにより、千葉10区内で合計43件の査定前着工が実現。
- ③坂本銚子漁業協同組合長や鈴木JAちばみどり組合長の要請を受け、原発事故による被害（風評被害も含む）を広く認められるように各方面に働きかけ、実現。
- ④明智旭市長や宇井香取市長らの要請を受け合併特例債の期限延長（被災地は10年、非被災地は5年）を実現。
- ⑤不通であった神崎大橋を、昨年12月までに暫定開通。
- ⑥匝瑳市と神崎町を特定被災地方公共団体として早期に選定されるように尽力。（8月17日に実現）これにより、復旧・復興に伴う国からの助成措置が手厚くなる。



## 岡田副総理が谷田川代議士の活動を高く評価！

谷田川代議士の報告を受けて、岡田副総理は「震災直後は、どうしても私どもの関心は東北3県に向かい、千葉県の被害はあまり知られてなかった。こうしたなか、

この地域から選ばれている谷田川代議士が地元の実情をしっかりと伝えてくれて、私ども政府・与党が適確な対応ができたと思う。」と述べ、谷田川代議士の活躍ぶりを称賛しました。

そして「社会保障と税の一体改革」についての話になり、「4年間は消費税は上げないと言ってきたが、震災やヨーロッパをはじめとする世界的な経済危機のなかで、消費税を上げることは避けて通れない」と述べるとともに、「消費税増税分は全て社会保障に回す」と明言し、理解を求めました。

その後、会場からも質問を受け付け、とても有意義な会となりました。

尚、当日の国政報告会の模様は谷田川はじめホームページで動画として見ることができます。



## ①航空政策全般について質問

8月7日ブログより

=国土交通委員会にて=

場所：第18委員室



羽田国交大臣に質問する谷田川はじめ

午前9時からの国土交通委員会で、質問に立った。議題は、航空政策全般。自民党が日本航空の再上場に反対しているが、日本航空の再生のため、3500億円を政府が出資している。それを今秋にも売却することで、6000～7000億円の売却額があるとの報道もある。既定方針通り、日本航空の再生を果たすべきだと質問したところ、羽田国交大臣は、方針に変更がないことを明言。

また、成田空港から羽田空港までを50分台で結ぶ高速鉄道の構想について質問したところ、「これまで、都営浅草線の押上駅から東京駅の地下を通り泉岳寺駅を結ぶ約11kmの短絡線の需要予測等を調査してきたが、今年度は民間資金を調達するためのスキームを検討したい」との答弁が久保鉄道局長からあった。



## ②日本航空「再生問題」参考人質疑

8月21日ブログより

=国土交通委員会にて=

場所：第1委員室

午後12時半からの国土交通委員会で、質問に立ちました。議題は、JALの再生問題。JALの大西会長他2名の参考人が意見陳述し、それに対する質疑を行ないました。JALの更生計画では、2011年度に757億円の営業利益を見込んでいたのが、何と蓋を開ければ結果としてその3倍近い2049億円を計上。

一昨年8月に更生計画をJALが2ヶ月遅れで裁判所に提出した際には、二次破綻必至だと断言した野党議員もいました。それが今では、企業再生支援機構の出資3500億円があれば再建はできて当たり前、手のひらを返したような議論がなされています。

JALの再生は、当時の前原国交大臣が、京セラの稻盛氏を会長として迎え入れる等、前原氏のリーダーシップの下、達成できたと私は感じています。参考人である戸崎早稲田大学教授からも、「成功は素直に認めて学ぶべき」との発言があり、我が意を得たりでした。



参考人に説明する谷田川はじめ

# 現できた政策！

報じていますが、決してそんなことはありません。  
実現した政策を掲載致しました。 (民主党政策シリーズ2012年秋号より)



## 子ども手当を経て新児童手当を創設しました

これまでの児童手当と比べ、支給されていなかった中学生にまで対象を広げました。

また、支給額も年齢ごとに5千円～1万円アップし、児童養護施設の児童などを含め、すべての子どもたちを支援できるように改善しました。

旧児童手当と新児童手当の給付額の比較



## 妊娠・出産時に家計を助ける出産一時金の引き上げを継続

妊娠・出産は健康保険が使えないで家計への負担は大きい。そんなとき助けてとなるのが出産費用として一定額が支払われる「出産育児一時金」です。38万円から42万円に引き上げ、その額を継続しています。



## 妊婦健診の公費負担継続 不妊治療の助成を拡充

妊婦の健康管理の充実と経済負担の軽減を図るために、必要な回数の妊婦健診を受けられるようにする妊婦健診の公費負担を継続するとともに、不妊治療への助成を拡充しました。



## 一人ひとりに目が届く教育の実現に向けて教育体制を充実

一人ひとりの子どもに目が届く細やかな指導を行うために、民主党政権では小学校1、2年生の35人学級を実現。また、希望するほぼすべての公立小中学校にスクールカウンセラーを配置し、子どもの悩みに応えています。



## 待機児童の解消を目指して保育所等拡充、定員増を実現

政権交代後、2010年1月に閣議決定した計画に基づき、14年度までに保育の受け皿を246万人にすることを目指し、保育サービスの定員を全国で10年度約3万人、11年度約5万人増員。待機児童の解消に向け、保育所や家庭的保育を拡充しています。また、12年8月には、子ども・子育て支援関連3法を成立させました。

### 保育の受け皿を大幅に拡充

(対前年度比保育サービス定員増)

2010年度(政権交代直後)	2.6万人増
2011年度(民主党政権2年目)	4.6万人増
今後2014年度までに	総数246万人



## 子どもたちの安全確保へ小中学校の耐震化を加速

子どもたちが1日の大半を過ごし、緊急時には地域の避難場所ともなる学校施設の耐震化を積極的に進め、政権交代前は67%だった耐震化率を2012年度中に約90%にします。防災機能の強化、老朽対策も推進しています。

東日本大震災を受け  
耐震化をさらに加速

2009年4月時点	67%
2012年度予算執行後	90%

## 高校実質無償化で中退者が減少

高校中退者数

2008年度	2208人
2009年度	1647人
2010年度	1043人

公立高校では授業料無償化、私立高校では授業料の一定額助成制度がスタート。これにより経済的理由による高校中退者数が年々大きく減少。学びたい高校生が学び続けられる環境が整っています。

## 生活保護の母子加算を復活・継続しています

自公政権下で廃止された生活保護の母子加算を政権交代後の2009年12月に復活。18歳以下の子どもを持つ母子家庭を対象に、1人目の子どもに月約2万3千円程度(都市部の場合)、2人目以降は1人あたり800円から月千数百円程度を保護基準額に加算しています。



# 民主党だから実

一部のマスコミが、「民主党マニュフェスト総崩れ」と「子育て」「医療・介護」について、民主党がこれまで



## 子育て

### 児童扶養手当を父子家庭にも拡大しました

母子家庭の子育て負担の軽減のために支給される児童扶養手当を2010年に法改正し、父子家庭にも支給を拡大しました。これによりリストラなどに悩む父子家庭などをサポートできるようにしました。



## 医療・介護

### 診療報酬2回連続プラス改定 十分な医療体制を整備

自公政権が続けてきた社会保障費毎年度2200億円の削減方針を撤回。診療報酬を2010年度に10年ぶりにプラス改定し、12年度もプラス改定したことで病院等の経営、医師や看護師等の勤務条件、医師や病院不足などが改善しました。

診療報酬改定	
2000年	+0.2%
02年	▲2.7%
04年	▲1.0%
06年	▲3.16%
08年	▲0.82%
10年	+0.19%
12年	+0.004%

### 肝炎対策を拡充

肝炎対策基本法が2009年11月30日に参院で可決・成立。これにより肝炎医療費の自己負担限度額を原則1カ月あたり1万円に引き下げ、希望者が無料検診を受けられるようにし、医療費助成の対象に核酸アナログ製剤治療を追加しました。

また、B型肝炎特別措置法が2011年12月9日、参院で可決・成立。1948年から88年までに集団予防接種等の際の注射器の使い回しが原因で感染したB型肝炎患者を対象に給付金を支払うことにしました。

### 大学授業料減免・奨学制度の充実で学生支援

民主党政権では大学授業料の減免者の比率を30年ぶりに引き上げ、2012年度は約10万4千人に拡大。また、奨学金貸与人員を19万人増加(09年度比)、特に無利子奨学金を4万人(09年度比、12%増)も拡充しています。

奨学金貸与人員の推移(2012年度予算)



\*上表には、平成17年度入学者から都道府県に移管している高等学校等奨学金事業交付金分は含まれない。  
※計数は四捨五入の関係で一致しないことがある。

### 24時間対応の訪問介護・看護スタート

住み慣れた地域で生活できる介護の実現を目指し、24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問サービスを創設。ヘルパーなどの人材確保につながるよう、2012年度の介護報酬改定で1.2%引き上げました。

### 医療先進国並み医師数確保へ 医師不足解消の取り組み強化

小児科、産科、外科等を中心とする医師不足解消に向け、医学部の定員を増員。自公政権下の2008年度に7793人だった定員を、2010年度8846人、11年度8923人、12年度8991人と増やしています。

### ジェネリック医薬品の使用 促進で患者の負担を軽減へ

ジェネリック(後発)医薬品は開発費用が安く抑えられることから薬価が安くなり、患者負担の軽減、医療保険財政の改善へと繋がります。「2012年度までに数量シェアを30%以上に」という目標を掲げ、使用を促進しています。



### 国民を感染症から守るため ワクチンの公費助成を実現

国民の健康を守り、安心を確立するために、子宮頸がん予防ワクチンやヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種を、2012年度末まではほぼ自己負担なく受けられるようにしました。



# フェイスブックを始めました！

いいね！が多かった一部の記事を掲載しました。



## 恋するブタ

香取市栗源地区にある社会福祉法人福祉楽団が、障害者自立支援法に基づく就労継続支援A型施設「栗源協働支援センター」を9月1日から開設します。その竣工を祝う会が8月22日昼に行われました。

就労継続支援施設には、A型とB型があり、A型は、障害者を最低賃金以上で雇い、B型はそこまで払わない施設です。千葉県内では、B型施設が173カ所あるものの、A型は18カ所にとどまっています。

このことは、障害者の能力を十分引き出そうとする環境が十分整っていないことを意味します。

福祉楽団の在田理事長は、養豚も営んでおり、給食の残滓を飼料に取り入れることで、美味しい豚肉を作っています。その豚肉を加工する施設が栗源協働支援センターで、9月1日から5名の障害者が働くことになっています。最終的には、25名の障害者を雇い入れるとのこと。

写真は同センターの責任者である飯田さんとのツーショットです。「恋する豚研究所食堂」と書いてありますが、10月からレストランをここでオープンさせ、11月からは、「恋する豚研究所」ブランドで、ハムやソーセージを販売する計画とのこと。障害者の自立という点からも、この事業の成功を願わざにはいられません。



## ◀ ■ 圏央道整備促進を羽田国交大臣に要望

8月30日午後3時半に、森田千葉県知事、橋本茨城県知事、上田埼玉県知事の3人お揃いで、圏央道の整備促進を羽田国土交通大臣に要望することになり、私も同行した。特に私の選挙区である大栄～横芝間の進捗状況が最も遅いので、特段の配慮を要望した。羽田大臣は、圏央道の重要性を充分認識しており、早期完成を目指す姿勢を示してくれた。



## ◀ ■ 一期生有志で野田総理に申し入れ

一昨年の参議院選挙で、野党が多数を占めてから、「決められない国会」が大きな問題になっています。それ故、予算案は成立したものの、公債特例法案がまだなため、この状態が続くと予算が執行できなくなり、国民生活に悪影響をもたらしかねません。そこで、9月19日民主党一期生議員の有志で、国会改革に関する提案(両院協議会の運用改善等)を持って官邸に足を運び、野田総理と15分程意見交換しました。総理も現状に強い危機感を持っているご様子で、代表選と総裁選終了後に、党首会談を開き、日本国家のためにも何らかの合意ができるよう率直な話し合いをする意向を示しました。

## 第5回全国醤油サミット

10月13日午後1時から銚子市で開催された全国醤油サミットで、挨拶しました。

スーパーに米国産の醤油が売っていた話をしました。キッコーマンが、今から30年以上前に中西部のウィスコンシン州で現地生産をスタートさせたのです。それ以来醤油は、米国人の食生活にも徐々に浸透し、西海岸にも生産拠点ができるなど、需要が拡大しています。

日本食の世界遺産への登録を目指して、政府がユネスコに申請しましたが、結論がでるのは来年秋です。世界遺産に登録されれば、醤油産業の発展につながります。オールジャパンで、日本食を盛り上げていきましょう。





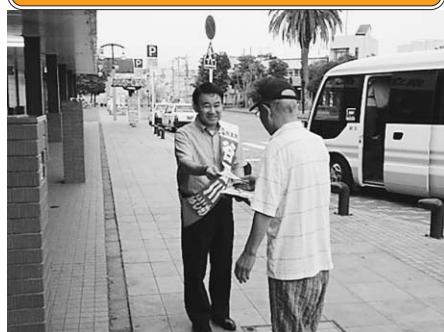
# 継続は力なり 早朝からの駅頭活動

谷田川はじめは、県議会議員に初挑戦した20年前から、早朝の駅頭での活動を続けています。国会議員を目指してからは、選挙区が大きくなり、下記の主要10駅を中心にローテーションで各駅をまわっています。

国会や地元での活動等をA4版の紙に印刷して毎回内容を変えて配布しています。駅で谷田川はじめの姿を見たら、是非声をかけて下さい。

尚、フェイスブックでもできるだけ掲載するようにしており、下記の写真は全てフェイスブックからのものです。

J R 跳子 駅



9月7日 5時50分スタート

J R 成田 駅



10月2日 6時00分スタート

J R 佐原 駅



10月22日 6時00分スタート

J R 飯岡 駅



9月14日 6時05分スタート

京成成田 駅



9月11日 6時00分スタート

J R 小見川 駅



10月1日 6時10分スタート

J R 旭 駅



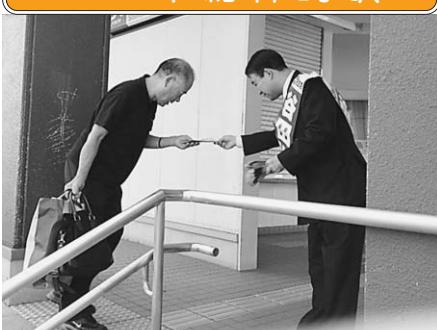
9月13日 6時10分スタート

京成公津の杜 駅



10月5日 6時00分スタート

J R 下総神崎 駅



9月24日 6時15分スタート

J R 八日市場 駅



10月14日 6時15分スタート

# 伝言板

**facebook**

で友達になりましょう！



下の写真にあるように、谷田川はじめポスターの掲示をお願いしております。

併せて民主党広報板の設置をお願いできれば有難いです。ご協力頂ける方は、下記事務所までご連絡下さい。

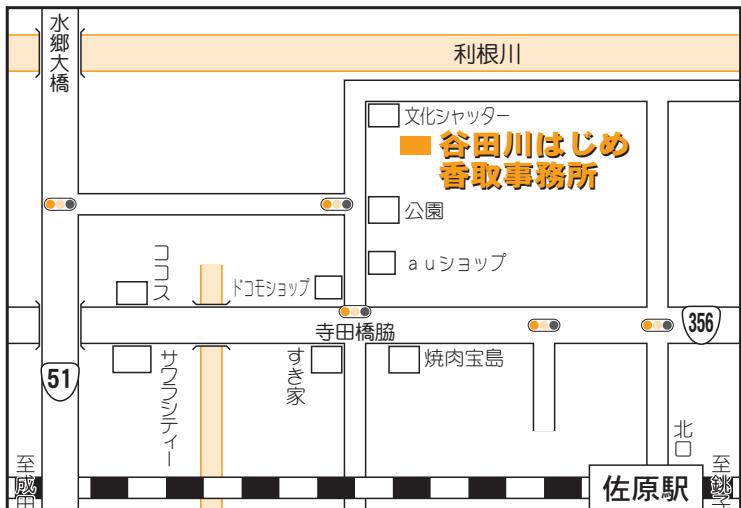


## 香取事務所

〒287-0001

住所：千葉県香取市佐原口2164-2

電話：0478-54-5678 FAX：0478-52-6991



ホームページ：<http://www.hajime-yatagawa.com>

## Facebookって何ですか？

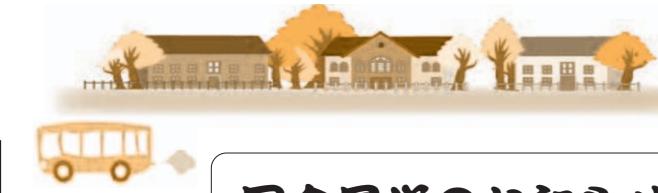
Facebookは2004年に、米国の大学生向けのSNSサービスとして公開されました。その後、一般ユーザーも利用できるようになりました。登録者が急増。現在は、全世界で5億人以上が利用しているといわれています。登録に必要なのは、メールアドレスのみ。登録は無料。PC・スマートフォン(携帯)お持ちの方で13歳以上の方ならだれでも利用できます。



友達検索⇒谷田川はじめ

## 【谷田川はじめプロフィール】

昭和 38 年	1 月 17 日	香取市に生まれる
56 年	千葉県立佐原高校卒業	
60 年	早稲田大学政治経済学部卒業	
同年	丸紅（株）入社	
63 年	（財）松下政経塾入塾 在塾中、米国連邦下院議員政策スタッフとして活動	
平成 3 年	衆議院議員 山村新治郎秘書	
5 年	千葉県議会議員 初当選 以後 4 期連続当選	
21 年 【現在】	3 度目の挑戦で衆議院議員 初当選 国土交通委員会委員 外務委員会委員 東日本大震災復興特別委員会委員 民主党成田空港ハブ化推進議員連盟事務局長 千葉県ハンドボール協会会长	



## 国会見学のお知らせ

谷田川はじめ事務所では、随時国会見学を募集致します。事務所スタッフが、国会の隅々までご案内いたします。個人・団体問わず、お子様からご年配者まで大歓迎！詳しくは国会事務所迄お問合せ下さい。

■お問合せ先 ■  
【国会事務所】  
電話：03-3508-7123  
担当〈佐藤・羽根〉



谷田川はじめ

